

報 告 書 抄 録

ふりがな	のむらきたいせき おやまいせき じんやいせき							
書 名	野村北遺跡・小山遺跡・陣屋遺跡							
副 書 名								
巻 次								
シリーズ名	ほ場整備関係（経営体育成基盤整備）遺跡発掘調査報告書							
シリーズ番号	36-2							
編著者名	内田保之 木下義信							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732番2号				
発行年月日	平成21年（2009年）3月31日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コ ー ド		世界測地系		調査面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北 緯	東 経			
のむらきたいせき 野村北遺跡	ひがしおうみし 東近江市	25205	205-106	136度12分58秒	35度06分37秒	4,179㎡	20060710 } 20070223	県営経営体育成 基盤整備事業 (野村地区)
おやまいせき 小山遺跡	のむらちよう 野村町		205-109	136度12分46秒	35度06分38秒			
じんやいせき 陣屋遺跡			205-107	136度13分05秒	35度06分33秒			
所収遺跡名	種 別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
野村北遺跡	集落	奈良時代	竪穴建物・掘立 柱建物	須恵器・土師器				
小山遺跡	集落	平安時代	掘立柱建物・ 溝・鍛冶炉	土師器・緑釉陶 器・灰釉陶器・ 黒色土器・瓦器 ・鉄製品				
陣屋遺跡	集落	鎌倉時代	溝・土坑	土師器・黒色土 器・瓦器・陶磁 器				
	集落	室町時代	溝・土坑・井戸	土師器・陶磁器				
要 約	<p>調査で確認した遺構・遺物の時代は、奈良時代・平安時代前半期・平安時代後期～鎌倉時代初頭・室町時代の4時期に大別される。7世紀中葉～8世紀代に始まったとされる愛知川左岸扇状地上に位置する当該地域の開発に伴い、当遺跡では8世紀を遺構の初現期として集落が展開する様相を確認できた。古代における扇状地上の開発過程を辿る上で重要な成果といえよう。以後も継続して集落が営まれており、16世紀代を上限に遺構を確認することができた。なお、室町時代の遺構に関してはその検出状況から屋敷地である可能性がある。</p>							